



ベタ基礎断面図 (S = 1/20)

＜下記条件での参考図＞

(地耐力 50 kN/m^2 以上、コンクリート設計基準強度 18 N/mm^2 以上)
(基準風速 34 m/s 、地表面粗度区分 III)

注1) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注2) 水切りを取り付けた際、光漏れの可能性がありますので

基礎の立ち上がり部と天面部の角に面取りをしないでください。

注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

建築面積	30.8 ^{m²}	(間口柱芯寸法)×(奥行柱芯寸法)
------	-------------------------------	-------------------

構造耐力上主要な部分の部材					
部材表	形状	板厚	使用材料	有効細長比	
柱	 — 85 x 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	107	
梁	 — 100 x 50	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	—	
桁(前)	 — 280 x 92 x 25	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	—	
桁(中)	 — 280 x 92 x 25	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	—	
桁(後)	 — 230 x 150 x 35	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	—	
ブレース	—	7.0φ	JIS G3101 一般構造用圧延材 SS400	—	
ブレース	—	10.7φ	JIS G3101 一般構造用圧延材 SS400	—	
ターンバックル	—	7.0φ用	JIS A5541 建築用ターンバックル鋼	—	
ターンバックル	—	10.7φ用	JIS A5541 建築用ターンバックル鋼	—	
アンカープレート	—	6.0mm	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 SS400	—	

構造耐力上主要な部分以外の部材				
部材表	形状	板厚	使用材料	
鋼縁	□ — 54 x 33 x 10	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
屋根	ヨドルフ88 4mm発泡ポリエチレン貼り	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	
壁	ヨド波状サイディング800N型	0.4mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	
鼻隠し・ケラバ	—	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	
桁補強（前）	—	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁補強（後）	—	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	
シャッター	—	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	
前板（H）	—	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	
トイ	塩ビ製 角種	—	—	

名 称	ヨド 倉 庫（ベタ基礎）	株式会社 淀川製鋼所
機種名	S0B-5857FHD 型（単棟）	